

公開シンポジウム「NIAS-FAO 国際シンポジウム - アジア太平洋地域植物遺伝資源：インパクトと将来展望」開催についてのご案内（11/10/18）

日時：平成 23 年 10 月 18 日（火）10:00～17:00

場所：つくば国際会議場 エポカル <http://www.epochal.or.jp/>

主催：農業生物資源研究所

協力：国際連合食糧農業機関(FAO)アジア・太平洋地域事務所(RAP)

開催趣旨：生物多様性条約 COP10 にて名古屋議定書が採択され、遺伝資源の海外探索・収集にかかる法的環境が整備されつつある今、情報を含め円滑なやり取りのためには国際連携を深めることが不可欠です。多くの作物の起源地を擁するアジア地域はもとより、アジアと経済や文化的に関係性が深く、イモ類等の特色のある遺伝資源をもつ太平洋地域も含めて交流を深化させることは今後の遺伝資源戦略を考える上で重要です。そこで、アジア太平洋地域の植物遺伝資源の保存と利用について、地域への影響および将来展望を国内外の研究者・有識者が発表し議論を行う本シンポジウムを開催して、参加各国メンバーの連携・交流を深める契機とします。本年度は、FAO トラストファンド「アジアにおける植物遺伝資源の保全と持続的利用の強化のための能力開発と地域協力」の最終年であり、つくばで開催されるトラストファンド最終報告会の翌日に、国際シンポジウムを開催することにより、アジア 15 カ国からの代表者が参加し、情報や意見を交換する機会を提供します。

海外からの参加予定) インド、タイ、バングラデシュ、ブータン、カンボジア、インドネシア、マレーシア、モンゴル、ミャンマー、ネパール、パキスタン、フィリピン、スリランカ、ラオス、ベトナム、サモア、フィジー、イタリア（中国、韓国等の関係機関にも参加呼びかけ中）

内容)

「NIAS-FAO International Symposium — Plant Genetic Resources in Asia and the Pacific: Impacts and Future Directions —」

- I. アジア太平洋における植物遺伝資源のインパクトについて
- II. アジア太平洋における植物遺伝資源の将来方向について
- III. 総合討論

プログラム) [http://www.gene.affrc.go.jp/event-ws\\_20111018\\_en.php](http://www.gene.affrc.go.jp/event-ws_20111018_en.php)

ポスター) [http://www.gene.affrc.go.jp/pdf/misc/event-NIAS\\_WS\\_20111018\\_poster\\_en.pdf](http://www.gene.affrc.go.jp/pdf/misc/event-NIAS_WS_20111018_poster_en.pdf)

参加費) 無料

登録) [http://www.gene.affrc.go.jp/event-ws\\_20111018\\_en.php#registration](http://www.gene.affrc.go.jp/event-ws_20111018_en.php#registration)

より 10 月 13 日（木）までにお申し込みください。

事務局) 農業生物資源研究所 遺伝資源センター 竹谷勝、山本伸一

お問い合わせフォーム [http://www.gene.affrc.go.jp/contacts\\_en.php?cat=event](http://www.gene.affrc.go.jp/contacts_en.php?cat=event)